平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	地域とスポーツ (Area sports)			授業コード	E028551
担当教員名	竹田　隆行			科目ナンバリングコード	E20703
配当学年	2	開講期	後期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	地域で行われているスポーツの現状を把握します。そこから、課題を発見して問題解決につながる方法を考えます。教科書は特にありませんので、復習に時間をかけてください。他の科目を履修していなくても、この科目だけで理解ができる内容になっています。				
受講心得	手ぶらで講義に出席しない。事前に参考図書を読んでおくこと。スポーツに対しては、各人がそれぞれのこだわり、考え方を持っています。こだわりは必要ですが、そこから新しい考えは生まれてきません。ゼロベースで物事を考える重要性を学んでもらいたい。				
教科書	特になし				
参考文献及び指定図書	生涯スポーツの社会経済学(杏林書院)、スポーツ産業論　第6版(杏林書院)、				
関連科目	スポーツビジネス・マネジメント概論、スポーツ経営学、スポーツ行財政論、スポーツリテラシーⅣ				

授業の目的	日本のスポーツは、学校体育と企業スポーツによって発展してきました。しかしながら、少子化により、学校が統廃合され、不景気により企業がスポーツから撤退と我が国のスポーツを支えてきた大きな柱が傾いてきました。このような危機的な状況の中、スポーツの受け皿として地域社会が注目され始めています。 本講義では、地域とスポーツの関わりと重要性について学習します。地域で取り組んでいるスポーツ事業の現状から問題点を指摘して、解決方法を図るリテラシーを身につけることを目的とします。
授業の概要	地域でのスポーツ活動が注目されるようになった背景を理解します。文部科学省が推奨する豊かな生涯スポーツ社会の実現を目指すためには、地域(大分県、大分市)スポーツスポーツがどうあるべきかを考えます。教科書はありませんので講義後のノート整理、確認をしっかりして下さい。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： ○第1回　我が国のスポーツの発展について 我が国のスポーツの普及振興の歴史について説明します。学校体育、企業スポーツから、スポーツ活動の場が地域に変わろうとしています。その背景を学びます。	予習(関連情報のを収集)1h 復習(ノートの確認・整理)3h スポーツの発展についてまとめる
第 2 週 ： ○第2回　我が国のスポーツ政策(スポーツ振興法) スポーツ政策について学びます。わが国のスポーツ政策は、戦前にはなかったと言われています。スポーツ振興法、スポーツ振興基本計画について説明します。	予習(関連情報のを収集)1h:資料スポーツ振興法を熟読すること。復習(ノートの確認・整理)3h:スポーツ振興法施行の背景についてまとめる

第 3 週 ： ○第3回　我が国のスポーツ政策（スポーツ振興基本計画1） 我が国のスポーツ政策について説明します。スポーツ基本計画の生涯スポーツの普及振興に引き継がれたスポーツ振興基本計画について学びます。	予習（関連情報のを収集）1h：資料スポーツ振興基本計画を熟読すること。復習（ノートの確認・整理）3h：生涯スポーツ政策についてまとめる
第 4 週 ： ○第4回　我が国のスポーツ政策（スポーツ振興基本計画2） スポーツ振興基本計画には、豊かな生涯スポーツ社会の実現を目指す。そのためには、総合型地域スポーツクラブが重要だと述べられています。総合型地域スポーツクラブについて学びます。	予習（関連情報のを収集）1h：資料スポーツ振興基本計画を熟読すること。復習（ノートの確認・整理）3h：競技スポーツ政策についてまとめる
第 5 週 ： ○第5回　総合型地域スポーツクラブ1 総合型地域スポーツクラブには、地域の人たちが運営して、地域の人たちがクラブでスポーツを楽しむ仕組みになっています。従来の地域スポーツとの違いを学びます。	予習（関連情報のを収集）1h：資料総合型スポーツを熟読すること。復習（ノートの確認・整理）3h：総合スポーツクラブの必要性についてまとめる
第 6 週 ： ○第6回　数河型地域スポーツクラブ2 総合型地域スポーツクラブは、3つの多様性を包含し、クラブをマネジメントするクラブマネジャーの存在が必要です。クラブの維持、発展をするために必要なマネジメントを学びます。	予習（関連情報のを収集）1h：資料総合型スポーツクラブを熟読すること。復習（ノートの確認・整理）3h：総スポーツクラブの現状についてまとめる
第 7 週 ： ○第7回　総合型地域スポーツクラブ3 総合型地域スポーツクラブを運営していくためには、財源が必要です。主財源は会費になります。会費を集めるためには、地域の人々のニーズをプログラムサービスに反映する手法を学びます。	予習（関連情報のを収集）1h：資料総合型スポーツクラブを熟読すること。復習（ノートの確認・整理）3h：総スポーツクラブの問題についてまとめる
第 8 週 ： ○第8回　総合型地域スポーツクラブ4 総合型地域スポーツクラブが多くの財源を得るためにNPO法人格を取得する方法があります。NPO法人格を取得するメリットとデメリットを学びます。また、NPO法人格取得の方法を説明します。	予習（関連情報のを収集）1h：資料総合型スポーツクラブを熟読すること。復習（ノートの確認・整理）3h：総スポーツクラブの在り方についてまとめる

第 9 週 ： ○第9回　スポーツフォアオール 1970年代になりスポーツをする権利がヨーロッパを中心に広がります。そして、スポーツは身体活動だけではなく、福祉や経済にも寄与することが明らかとなりました事例をもとに説明します。	予習（関連情報のを収集）1h：資料スポーツフォアオールを熟読すること。復習（ノートの確認・整理）3h：スポーツフォアオール憲章についてまとめる
第10週 ： ○第10回　スポーツの経済効果 スポーツの経済効果として、ビッグスポーツイベントが注目されていますが、その効果は一時的なものにすぎません。スポーツ活動によるスポーツの経済効果について学びます。	予習（関連情報のを収集）1h：資料スポーツと経済を熟読すること。復習（ノートの確認・整理）3h：スポーツの経済効果についてまとめる
第11週 ： ○第10回　スポーツが社会に与える影響 スポーツは、身体活動だけでなく、福祉や経済にも寄与することを学びました。スポーツ活動における欧米と日本の評価基準の設定について学びます。	予習（関連情報のを収集）1h：資料スポーツと社会を熟読すること。復習（ノートの確認・整理）3h：スポーツが社会に与える影響についてまとめる
第12週 ： ○第12回　地域で行われているスポーツイベント 地域で行われているスポーツイベントについて学びます。スポーツ参加の動機付けには、イベントは大きな役割を果たします。その効果を維持するための手段と方法を学びます。	予習（関連情報のを収集）1h：資料スポーツと地域を熟読すること。復習（ノートの確認・整理）3h：地域とスポーツの関係についてまとめる
第13週 ： ○第13回　地域のスポーツクラブ１ 地域で行われているスポーツクラブとして、スポーツ少年団、草野球、ママさんバレー等のスポーツクラブの現状と問題点について学びます。	予習（関連情報のを収集）1h：資料スポーツと地域を熟読すること。復習（ノートの確認・整理）3h：地域スポーツクラブの現状についてまとめる
第14週 ： ○第14回　地域のスポーツクラブ２ フィットネスクラブ、テニスクラブ、Jリーグ、Bリーグ等の営利を目的としたクラブビジネスと地域の関係について学びます。	予習（関連情報のを収集）1h：資料スポーツと地域を熟読すること。復習（ノートの確認・整理）3h：営利スポーツと地域の関係についてまとめる
第15週 ： ○第14回　地域社会におけるスポーツについて	予習（関連情報のを収集）1h：資料スポーツと地域を熟読すること。復習（ノートの確認・整理）3h：地元（大分）におけるスポーツについてまとめる

これまでの講義を踏まえて、大分県、大分市において日本文理大学が地域のスポーツにおいて何ができるのか、何をしなければならないのかを考えます。	
第16週： 期末試験 これまでの講義内容を試験範囲とします。試験時間は60分とします。	試験準備 ノートの確認・整理

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

〇単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	地域スポーツにおける必要な知識や倫理観を身に付けるとともに、目的意識を持って自発的に学習する能力を身につける。
【知識・理解】	我が国のスポーツの発展の経緯を理解します。地域で行われているのスポーツの現状を把握し、それらを総合・活用して問題解決を図るリテラシーを身につける。
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	変容する社会において、多角的に考察・分析し、地域で行われているスポーツの現場で課題解決できるマネジメント能力を活かし、新たな価値創造にチャレンジする能力を身につける。

〇成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。	**10点**			
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**60点**			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	**30点**			

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	